

2

2026  
Feb

KAN  
No. 239

YAN



# 祝二十歳のつどい

神埼市



## 二十歳のつどい

穏やかな冬晴れの1月11日、神埼市中央公民館で「二十歳のつどい」が開催され、人生の節目を迎える273人の若者たちが集いました。

式典は実行委員会が中心となって企画・運営し、司会進行や国歌斎唱のピアノ伴奏などを行いました。

小・中学校時代の思い出を振り返るスライドショーや恩師からのメッセージ、小学校区ごとの記念撮影も行われ、会場は懐かしさと笑顔に包まれました。

### 市長からの式辞



#### 神埼市長 實松 尊徳

新春の佳き日に、二十歳という大きな節目を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。これまで支えてこられたご家族や地域の方々への感謝を胸に、失敗を恐れず挑戦し続けてください。皆さん一人ひとりの力が、神埼市、そして未来を切り拓いていくことを心から期待しています。

ピアノ伴奏を  
担当した  
奥田 明莉さん



神埼

#### 神埼市の二十歳の皆さん

対象年代／平成17年度生まれ

対象者／男性192人

女性184人

合計376人



## 実行委員

後列 (左から)  
筒井 桃さん／下西 拓音さん／  
鶴橋 杏輔さん／溝口 輝さん／  
真崎 陽さん／中島 琢貴さん

前列 (左から)  
森崎 琴音さん／松永 彩里さん／  
平 彩華さん／江頭 ひかりさん／  
園田 紗也さん／奥田 明莉さん／  
矢ヶ部 美南さん／吉永 奈央さん



## 二十歳の言葉

### 誓いの言葉



下西 拓音さん

これから新たな一步を踏み出すために「一人の社会人として責任ある行動をとること」「周囲への思いやりを忘れないこと」「失敗を恐れず挑戦し続けること」「支えてくれた方々への感謝を胸に、社会に貢献していくこと」を誓います。

### 二十歳代表の謝辞



鶴橋 杏輔さん

家族や恩師、地域の皆さんに支えられ、故郷・神埼市でこの節目を迎えたことに深く感謝しています。進む道はそれぞれ違いますが、このまちを心の拠り所として歩み、いつの日か恩返しができるよう精一杯努力を重ねてまいります。



# 「ハタチ」の想い

二十歳のみなさんに  
決意や抱負など  
一言いただきました。



立派な看護師になります



健康第一で  
がんばります！



自立した  
大人になります

子育てがんばる！



お父さん  
お母さん  
ありがとうございます！

立派な看護師に  
なります



勉強  
がんばります！

これまで  
出会った人に  
感謝して  
がんばります

すてきな  
保育士になります



今まで育てて  
くれてありがとう  
これからもよろしく  
お願ひします！



人に憧れられる  
ような大人に  
なります

就活  
がんばります！

がんばります！

がんばります！

お父さんお母さん  
20年間ありがとうございます。  
これからもよろしく  
お願ひします。



20年間育てて  
くださった方々に  
感謝してこれからに  
がんばります

電気主任技術者に  
なれるよう  
がんばります

引き続き大切な人を  
大切にします

二十歳のつ

神埼の豊かな  
自然が僕を  
育ててくれました

しっかりした  
大人になります

かっこいい男を見つけて  
幸せになります！



経営者を目指してがんばります

社会に貢献できるような  
大人になります



がんばります！



これから佐賀を  
盛り上げます！

## 11/22 神埼市建設共栄会が小・中学校でボランティア活動

市内の建築業者などで組織する神埼市建設共栄会が、脊振小・中学校でタイル補修や除草作業などのボランティア活動を行いました。

この活動は地域貢献の一環として市内の小・中学校で毎年実施されており、熟練した職人である会員が設備や備品の補修を行っています。

会長の小渕潤志さん(株小渕建設)は「子どもたちの笑顔があふれる学校づくりに役立てるよう、今後も活動を続けていきたい」と話しました。



## 12/12 宅老ちよだひまわりの会が厚労省から表彰

特定非営利活動法人「宅老ちよだひまわりの会」が厚生労働省が行う第3回地域共生社会推進賞団体部門で「部門賞」の表彰を受けました。

ひまわりの会は約30年にわたり、高齢者の日常の困りごとに寄り添う生活支援や、誰もが気軽に集える地域の居場所づくりに取り組んだことが、今回の表彰につながりました。

代表の古川雅子さんは「これからも地域とともに歩んでいきたい」と述べました。



## 12/1 永濱 洋さんが援護事業功労者厚生労働大臣表彰を受章

永濱洋さん(千代田町上直鳥)が、援護事業功労者厚生労働大臣表彰を受けました。長年にわたり戦没者遺族などの援護事業に携わり、遺族会会長として活動に尽力されたことが今回の受章につながりました。

永濱さんは「多くの方々の支えがあって受章できました。今後も戦没者を追悼し、遺族の思いを次の世代へ伝えていきたい」と語りました。



## 12/15 佐城・三神いちご部会が「いちごさん」をPR

JAさが佐城三神いちご部会神埼支部の姉川勝支部長と大坪俊博副支部長が市長を訪問し、佐賀県ブランドいちご「いちごさん」の魅力をPRしました。

夏場の猛暑による高温対策に苦労しながらも、生産者が一粒一粒愛情を込めて育てた「いちごさん」は、美しい色と形、口いっぱいに広がるやわらかな甘さが特徴です。

姉川支部長は「首都圏へ上京された際には、ぜひ佐賀のいちごをPRしてください」と話しました。



# トピックス

## 12/19 トヨタ紡織九州から 読み語りボランティアに寄付

トヨタ紡織九州株式会社から、市内の読み語りボランティアグループ「文化の杜ネットワーク（後藤契子代表）」へ、20万円の寄付があり、神埼市立図書館で贈呈式が行われました。

この寄付は、同社の有志社員が給与や賞与の端数を積み立てて寄付活動を行っている「端数クラブ」によるもので、同社人事・総務室の馬場崎貴久室長から「地域の活性化に役立ててほしい」と手渡されました。

後藤代表は「子どもたちのために大切に活用します」と感謝の言葉を述べました。



## 12/22-25 施設へ心を込めた クリスマスプレゼント

よらんね神埼内の「チームオレンジ」メンバーが、牛乳パックを再利用したペン立てを手作りし、市内のグループホームやデイサービスへクリスマスプレゼントとして届けました。

作成したペン立ては、各施設に数個ずつ配布。メンバー同士で工夫を凝らし、一つひとつ心を込めて仕上げました。受け取った施設の利用者からは「手作りの温かさが伝わり、とてもうれしい」といった喜びの声が寄せられました。



## 12/20-21 第2回かんざき クリスマスマーケット

第2回かんざきクリスマスマーケットが長崎街道門前広場を中心に行われました。ツリーや電飾で彩られ、ステージイベントやワークショップ、グルメなどで賑わいました。

プロレス団体のお菓子振る舞いで始まり、ダンスやギターの弾き語りなどが披露され、クライマックスはナイトバブルショー。アーティスト2人が創り出すシャボン玉が夜空に舞い上ると大歓声、大人も子どもも幻想空間に酔いしれました。



## 1/4 決意新たに出初式 神埼市消防団

神埼市消防団の出初式が神埼中央公園グラウンドで行われ、団員452人が地域の安全を守る決意を新たにしました。服装などの通常点検を受けた後に、引き締まった表情で分列行進を披露。重松大介団長が「地域の防災能力が求められ、消防団への期待が高まっている。訓練に励み、市民の生命と財産を守る役割を全うする」と訓示し、団員の士気を高めました。

式の後、伝統の馬簾回しが行われ、真っ白な締め込み姿の団員が支える馬簾めがけて一斉放水、色とりどりの放水が新春の空に舞いました。

